

1. 持ち物

ア 学校に必要なもの

- ・筆記用具、校内服、連絡帳、水筒を持てきましょう。
- ・忘れ物がないようにし、必要なものだけ持ってくるようにしましょう。
- ・持ってきてもいいかわからないときは、先生に相談しましょう。

※プレゼントやお土産、お菓子などのやり取りをしないようにしましょう。

〔 それぞれのおうちで、使えるお金や、おこづかいのルールがあります。
アレルギーの心配もあるので、友だちにお菓子は渡さないようにしましょう。 〕

イ 記名について

- ・すべての持ち物や、身につけるものには、かならず名前を書きましょう。

ウ 貴重品の管理について

- ・携帯電話、その他許可された貴重品は、登校後、先生に預けましょう。
- ・携帯電話・スマートフォンは、許可されたときだけ使えます。

2. 服装

ア 校内服

- ・指定の校内服もしくは指定の校内服に近いものを着ましょう。
- ・遊びで着る服(休日に着る服)と、学校で着る服を区別しましょう。
- ・身体にフィットした細身の服は、動きにくいです。動きにくい服装(例:ジーパン)だと、朝のランニングや体育の授業でケガをするかもしれないので、動きやすい服にしましょう。
- ・背中やおなか、肩が見えたり、背中から下着が見えたりするサイズの服はさけましょう。

イ 清潔について

- ・着た服は毎日、上靴は定期的に持ち帰り、洗濯をしましょう。

3. 校内ルール

ア 校内の移動について

- ・校内は右側通行で歩きましょう。
- ・他学年、他学部、ほかの階に行きたいときは、先生に相談しましょう。

イ 友だちとの関わりについて

- ・正しい距離感や、言葉づかいをしましょう。友だちとの距離が近かったり、人が嫌な気持ちになるような言葉になったりしていないか、考えましょう。
- ・手紙やSNSも書いた内容や書き込んだ内容は、友だちがどう思うか考えましょう。困ったときは、先生やおうちの人に相談しましょう。

- ・ LINEの I D は、個人情報です。LINE I D の交換(教える)をしてもよいか、
おうちの人に確認しましょう。
- ・ LINEを含むSNSは、おうちのルールを守って、正しく使いましょう。

ウ 学校にあるものについて

- ・ 学校にあるものは、みんなが使います。大切に使いましょう。もし壊れたときは、近くの先生に伝えましょう。

4. 生活上の注意

ア 身だしなみについて

- ・ 髪を染めることについては、会社やお店で実習をしたり、働くための学習や場にあった服装(身だしなみ)の学習をしたりするので、さけましょう。
- ・ 装飾品(ピアス、ネックレス、ブレスレットなど)については、落ちたピアスを誰かが口に入れたり、食べてしまったりする心配があります。また、ぶつかったときにネックレスやブレスレットなどでケガをする心配があります。学校に持ってこないようにしましょう。

イ 放課後や休日の過ごし方について

- ・ 外出するときは、行き先や帰宅時間をおうちの人に伝えましょう。
- ・ 帰宅時間が遅くならないように遊びましょう。
- ・ 友だちと遊ぶときは、おうちの人に遊んでいいか聞きましょう。
- ・ 遊ぶ約束は、どこで、だれと、遊ぶのか、また、何時に、どこに集まるのか、帰宅時間も含め決めましょう。おうちの人にきちんと伝えてから出かけましょう。
- ・ 遊ぶときのお金の使い方について、決められた範囲(おこづかい)でお金を使うようにしましょう。
- ・ 遊ぶお金の計算が難しい場合は、お金を使わない遊び方や責任のある大人と一緒に遊びに行くなど、遊び方を考え直しましょう。
- ・ 規則正しい生活をこころがけましょう。

ウ 交通ルールについて

- ・ 歩道を歩くようにしましょう。
- ・ 道路を渡るときは、横断歩道や信号機のある場所を渡るようにしましょう。
- ・ 自転車に乗るときは、道路の左側を走りましょう。二人乗りやながら運転はルール違反です。大ケガにつながる危険な乗り方なのでやめましょう。
- ・ 自転車乗車時のヘルメット着用は、努力義務になっています。

エ アルバイトや^{うんてんめんきょしゅとく}運転免許取得について

- ・どうしても必要になった場合、^{ひつよう}先生に相談しましょう。^{せんせい}決められた^{そうだん}手続きがあり、先生たちで相談します。

※^{うんてんめんきょ}運転免許については、^の乗り物の^{もの}種類で^{しゅるい}取得^{しゅとく}年齢^{ねんれい}があります。^き決められた^{がくしゅうじかん}学習時間の^{かくほ}確保が^{むづか}難しくなるため、^{ざいがくちゅう}在学中の^{うんてんめんきょ}運転免許の^{しゅとく}取得は^{すす}勧めていません。

5. ^{じしゅつがく}自主通学について

ア ^{こうきょう}公共マナーをまもりましょう。

- ・^{とうげこうちゅう}登下校中のイヤホンは^{しゅうい}周囲の音^{おと}が聞こえなくて^きケガや事故^{じこ}につながるのでやめましょう。
- ・^{ある}歩いているとき、^{でんしゃ}電車や^{しゃない}バス車内にいるとき、^{こえ}声の^{おお}大きさに^{ちゅうい}注意しましょう。
- ・^{ほど}歩道を^{ある}歩くときは、^{ひろ}広がりすぎて^{みち}道を^{ふさ}塞がないようにしましょう。
- ・^{とうげこうじ}登下校時の^{けいたいでんわ}携帯電話は^{まナー}マナーモードにし、^{きんきゅうじ}緊急時のみ^{しよう}使用しましょう。

イ ^き決められた^{つうがくほうほう}通学方法（^{とほ}徒歩、^{でんしゃ}電車、^{バス}バス）で^{つうがく}通学しましょう。

ウ ^き決められた^{とうこうじかん}登校時間を守りましょう。

- ・^{とうこうじかん}登校時間は、8：40～55です。
- ・^{しゃかい}社会に出て^で働くためにも、^{はたら}普段から^{ふだん}時間^{じかん}に^{よゆう}余裕を持って^も電車やバスに^{でんしゃ}乗ったり、^{ある}歩いたりして^{とうこう}登校できるようにしましょう。

エ ^よ寄り道や^{みち}友だちとの^{まちあ}待ち合わせはせずに、^き決められた^{つうがくろ}通学路を^{とお}通りましょう。

オ ^{つうがくとちゅう}通学途中、^{こま}困ったときは、^{おとな}まわりの^{とも}大人や^{えきいん}友だち、^{うんてんしゅ}駅員さんや^{みせ}運転手さん、^{ひと}お店の^{たす}人に^{もと}助けを求めましょう。^{いえ}あわせて、^{がっこう}家と^{でんわ}学校に^{でんわ}電話をしましょう。

カ ^{まも}ルールを守ることができない場合は、^{ばあい}登下校中の^{とうげこうちゅう}安全が^{あんぜん}確保できないことや^{かくほ}トラブルに^ま巻き込まれる^こ可能性が^{かのうせい}高くなるので、^{たか}通学方法を見直される場合があります。